

## ②鉄道施設総合安全対策事業費補助（踏切保安設備整備事業）

（概要）

「踏切改良促進法」に基づき、踏切道の保安設備を整備することにより、交通事故の防止及び交通の円滑化に寄与することを目的として整備費用の一部を補助する。

【補助対象事業者】 ①地方公共団体以外の鉄軌道事業者

鉄軌道事業において

- ・ 欠損
- ・ 営業損失
- ・ 事業用固定資産が営業利益率7%以下のいずれかに該当し、かつ全事業において

- ・ 欠損
- ・ 営業損失
- ・ 事業用固定資産が営業利益率10%以下のいずれかに該当する事業者

②地方公共団体である鉄道事業者

鉄軌道事業者において欠損を生じている事業者

【補助率】 補助対象経費の1/2（鉄軌道事業において経常利益を生じている場合は1/3）以内

【補助対象設備※】 踏切遮断機、踏切警報機（全方位型の増設を含む）、踏切警報時間制御装置、二段型遮断装置、大型遮断装置、オーバーハング型警報装置、踏切支障報知装置（障害物検知装置及び踏切障害物検知装置のうち高規格のもの又は操作装置に限る）及び踏切監視用カメラ

（※）補助の対象となる踏切道は、踏切道改良促進法に基づき指定された踏切（道路法による道路上にある踏切道）に限る。

## 5. まとめ

地域鉄道における事故や重大インシデントには、過去の発生状況から、次のような特徴がありました。

- ・「列車脱線事故」「踏切障害事故」の2つの事故種別で地域鉄道の事故及び重大インシデント全体の約9割を占める。
- ・列車脱線事故の要因として、「軌道：軌道等地上設備の保守状態に関するもの」が多く、運輸安全委員会が平成30年6月28日に意見を発出した以降も減少傾向が見られない。
- ・「踏切障害」「自然災害」「運転」要因の列車脱線事故は近年減少傾向だが、数年に一度発生している。
- ・早急に廃止する等の具体的な対策を講じることが必要な第3種・第4種踏切道の占める割合が高く、事故発生後の措置率もJRや大手民鉄と比較して低い。

上記を踏まえ、地域鉄道の事故として特徴的である「軌道」要因の列車脱線事故、第3種・第4種踏切道における踏切障害事故の特徴や課題を確認したところ、次のようなことがわかりました。

### ○ 列車脱線事故（軌道要因）

#### 【事故要因の特徴】

- 運輸安全委員会が平成30年6月28日に発出した「意見」に基づく適切な軌道の保守管理や保守管理基準値の設定、PCまくらぎ等への交換等が行われていない。
- 軌道の保守管理等が不適切な背景要因として、事業者の技術力不足が挙げられる。



#### 【事故防止に向けての重要なポイント】

- 運輸安全委員会の「意見」に基づき、適切に軌道の保守管理等を実施する。
- 経済的又は技術的な理由から、事業者単独で対策が難しい場合には、**各種法人の技術支援等や国の助成制度を活用し、「部分PCまくらぎ化」や「優先箇所を考慮した整備」等に取り組むことが望ましい。**（PCまくらぎ化後も、引き続き軌道の適切な保守管理は必要。）

### ○ 第3種・第4種踏切道における踏切障害事故

#### 【事故防止の課題】

- 踏切道の廃止や第1種化に向けた地域の議論や合意形成が進まないケースが多い。
- 合意形成に向け関係者間の協議に取り組む必要があるが、措置に至れていない事例には、**自治体等の関係者との協議を行っていないものが多い。**



#### 【事故防止に向けての重要なポイント】

- 過去の踏切廃止に至った取組等を参考としつつ、**代替措置の検討等を含め関係者間の協議を重ねることで住民の理解につなげるなど、継続的な取組が必要**である。

本ダイジェストで紹介している技術支援や国の助成制度も活用していただき、地域鉄道における事故防止対策を進めていただけることを期待します。

## 事故防止分析室長のひとこと

地域鉄道は住民の暮らしの足として重要な役割を担っており、また地域の経済活動の基盤となっています。その一方で、厳しい経営状況の中、安全輸送の確保や若手技術者の不足など様々な問題を抱えています。地域鉄道事業者が安全な鉄道輸送を確保するために、本ダイジェストで紹介した事故事例の再発防止策などを参考にいただければ幸いです。さらに、国の助成制度や技術支援を効果的に活用していただくことで、事故防止対策が順調に進むことを願っています。

〒160-0004  
東京都新宿区四谷1丁目6番1号  
四谷タワー15F  
国土交通省運輸安全委員会事務局  
担当：総務課 事故防止分析室

TEL 03-5367-5025  
URL <https://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>  
e-mail [hqt-jtsb\\_bunseki@gxb.mlit.go.jp](mailto:hqt-jtsb_bunseki@gxb.mlit.go.jp)

「運輸安全委員会ダイジェスト」に関するご意見や、  
出前講座のご依頼をお待ちしております。

